

油

あぶら

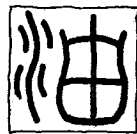
8画
油

なりたち 油を入れる壺(甕)の形をかたどった由と、水の会意形声字。壺の中に入れる水状のもの、つまり「油」を表した字。固体のものを「脂」、液体のものを「油」と区別する。また、「石油」の意味に用いる。



▼油。油脂：液状の油と固体の脂。油性：油が備えている性質。油絵：油絵の具で描いた絵。油揚げ：豆腐を油で揚げたもの。

▼石油。石油：地中の油層から汲み取った燃料となる油。原油：地中から産出したままの石油。揮発油：ガソリン。灯油：原油を蒸留して得られる油の一種。灯火や暖房に使う。油田：地下から石油が取れる地域。よみかた 油井・油断・給油



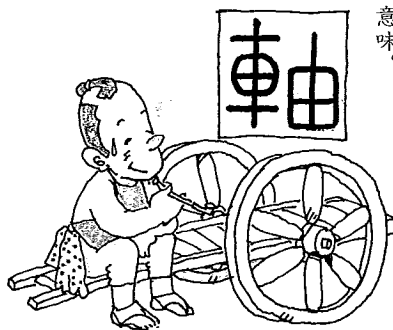
油軸

軸

ジク

12画
軸

なりたち 車と、よる意味の由との会意形声字。車が回転するためのよりどころである「軸」を表した字。「心棒」のこと。転じて、「物事の中心・要(めい)」。また、「巻物(まきもの)の中心棒がある(めい)」。また、「棒」の意味。



▼軸(心棒)。棒。車軸：車の心棒。車の両輪をつなぐ心棒。軸木：①掛け軸の心棒に使う木のこど。②マッチの棒の木の部分。

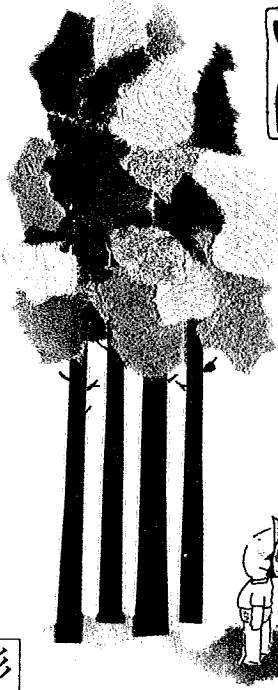
▼物事の中心。要(めい)。枢軸：活動の中心となる大切なところ。特に、政治機関の権力の中心。「枢」は扉の回転軸のこと。地軸：地球の自転の中心となる部分。地球の回転を支えていると想像される軸。よみかた 軸受け・横軸

杉

すぎ

7画
杉

なりたち 本字は楷。杉は俗字でオ(きへん)と多(さんづくり)(髪の毛をかたどった象形字)との会意形声字。髪型の美しい多の意味を借りて、姿形の美しい木「すぎ」を表した字。



いみじゆく

▼杉の木。杉原：杉の木が沢山生えている原。杉原紙：兵庫県杉原から産出される紙。奉書に似た紙。杉戸：杉の板で作った戸。杉折：杉の薄い板で作った箱で、菓子や料理を入れるのに用いる。よみかた 杉苗・杉並木

杉形

形

ケイ・ギヨウ
かた・かたち

7画
形

なりたち 型の意味のキと、髪の毛を表した多(さんづくり)との会意形声字。「髪型」という意味の字。転じて、広く「型・形」の意味に用いられる。



いみじゆく

▼形。型。形態：形。姿。有様。形状：形。有様。用例形状を詳しく説明する。形式：①内容に対して、形。また、上辺の姿。用例形式にとられる。②きまつたやり方。用例書類の形式。形影：形とその影。用例形影相伴う。(仲が睦(む)まじくていつも離れない様子。)形相：顔の形。顔の表情。用例すさまじい形相。

地形：土地の形。有様。用例起伏に富んだ地形。形成：形作ること。形を成すこと。用例人格を形成する。形容：①姿形などを、言葉で言い表すこと。②顔形。姿。よみかた 形見・形勢・異形・象形・造形・花形・変形・無形・有形